

【令和6年度 渋谷区立小・中学校合同展覧会 渋谷区立代々木中学校 作品一覧】

所属学年	生徒氏名	作品名	作品のついでの思いや、工夫した点を入力してください。
第1学年	K・K	デザインティッシュBOX	角をとがらせないようにした。
第1学年	R・S	デザインティッシュBOX	工夫したことは日常生活で使えるように、板と板をずれないようにくっつけた事と完成した後に塗るワックスを均等に塗った事です。
第1学年	H・I	デザインティッシュBOX	天板の模様デザインや、うめ木のきれいさを工夫した。
第1学年	T・O	デザインティッシュBOX	僕は、木材を組み立てた時にずれができないよう、少しずつ計画、修正をしながら作業をしました。また、やすりをかけるときに実際に使うときに使いやすいよう、角をできる滑らかにして工夫しました。
第1学年	S・T	デザインティッシュBOX	相がきつぎは少し難しく、ずれたら組み立てられないので少しずつ調整をしました。ふたの模様の順番を工夫しました。
第1学年	H・T	デザインティッシュBOX	相がきつぎと少し難易度が高い中、ずれの減少のために確認とやすりを繰り返し、作品の良化に努めました。
第1学年	A・I	デザインティッシュBOX	少しでもけがきがずれるときれいに組み立てられないので、けがきを丁寧にかけた
第1学年	S・W	デザインティッシュBOX	私は、この作品を製作する上で、部品一つ一つのサイズがなるべく部品図通りの長さになるように、また、切断面がなるべく平らになるように木材の切断を時間をかけ慎重に行いました。そのため、その僕なりの「木材の加工の慎重(丁寧)さ」の面に視点を当て作品を見てほしいです。
第2学年	K・O	ウッディキューブラジオBluetooth	主張が大きすぎないように自分の名前をラジオにつけた
第2学年	C・K	ウッディキューブラジオBluetooth	はんだごてでのデザイン
第2学年	I・S	ウッディキューブラジオBluetooth	スピーカーの部分が口に見えるように工夫しました。
第2学年	I・T	ウッディキューブラジオBluetooth	はんだごてで「聴」という文字を表現したこと
第2学年	M・I	ウッディキューブラジオBluetooth	角を少し丸くしたり、見たときにほっこりするようなウッドバーニングをしました。
第2学年	S・I	ウッディキューブラジオBluetooth	やすりで削って手触りをよくすることを心がけました。
第2学年	A・H	ウッディキューブラジオBluetooth	表に描かれているイルカは私の一番好きな動物なので、イルカを描きました。実際にラジオを使うときに、好きな動物のラジオを使い、好きな曲を流して、良い時間を過ごしたいと思っています！
第2学年	Y・M	ウッディキューブラジオBluetooth	

